

平成 19 (2007) 年度 財団法人の記録

1. 役員等の異動

- (1) 逝去 顧問 大井 道夫 (平成 19 年 5 月 2 日)
金田 平 (平成 19 年 7 月 28 日)

2. 会員数 (平成 20 年 3 月 31 日現在)

- (1) 普通会员 ()内は昨年度との差異
個人会員 13,040 人 (- 116 人)
ファミリー会員 3,018 人 (- 174 人)
ユース会員 183 人 (- 56 人)
(2) 団体会員 610 口 / 312 団体 (- 78 口 / - 25 団体)
(3) 賛助会員 88 口 / 42 法人 (+ 3 口 / + 3 法人)
(4) 寄付サポーター 781 件 (- 82 件)
(5) アクションサポーター 5,244 件 (- 856 件)
合 計 22,964 人・口

3. 会議

(1) 理事会

- ・ 5 月 30 日 定例理事会 / (議決) 平成 18 年度事業報告・決算
- ・ 2 月 27 日 臨時理事会 / (議決) 平成 19 年度補正予算
- ・ 3 月 27 日 定例理事会 / (議決) 平成 20 年度事業計画・予算、新評議員候補者の選任

(2) 評議員会

- ・ 5 月 30 日 定例評議員会 / (同意) 平成 18 年度事業報告・決算(案)
- ・ 2 月 19 日 書面表決 / (同意) 平成 19 年度補正予算(案)
- ・ 3 月 12 日 定例評議員会 / (同意) 平成 20 年度事業計画・予算(案)

(3) 委員会

- ・ AKAYA プロジェクト調整会議 (7/19、2/15)
- ・ AKAYA プロジェクト企画運営会議 (9/28、3/17)
- ・ 辺野古・大浦湾調査検討委員会 (9/5、1/31、3/13)
- ・ IUCN 日本委員会総会 (5/11、3/25)
- ・ IUCN 日本委員会運営委員会 (1/11、3/11)
- ・ ふれあい調査委員会 (4/20、6/21)
- ・ プロ・ナトゥーラ・ファンド助成運営・審査委員会 (4/11、8/9、9/3)
- ・ 自然観察指導員講習会講師会議 (2/2-3)

4. 意見書等の公表

(1) 意見書・要望書等（代表者名で提出）

各事業で取り組んでいる問題に対し、5件の意見・提言を提出した。（別表1）

(2) 声明・パブリックコメント等（主に業務担当責任者名で提出）

各事業で取り組んでいる問題に対し、13件の声明・パブリックコメント等を提出した。（別表2）

5. 委員の派遣

各事業で取り組んでいる問題・テーマに関わる23件の委員会等に役職員を派遣し、施策の転換や事業の見直しの検討に参画した。（別表3）

6. 印刷物の発行

(1) 会報『自然保護』

・年6回／奇数月発行(第497号～第502号)、44頁(第500号のみ48頁)／各号約18,000部

(2) 報告書・資料集等

・報告書97号『沖縄島北部東海岸における海草藻場モニタリング調査報告書』(7月、250部)

(3) 書籍

・『自然の見方が変わる本』(12月、初版4,000部、168頁、山と溪谷社／事業実施積立金活用)

・『生態学からみた自然保護地域とその多様性保全』(3月、初版2,000部、253頁、講談社サイエンティフィク)

(4) パンフレット等

・AKAYAプロジェクト総合パンフレット(3月、赤谷プロジェクト地域協議会・関東森林管理局と共同、5,000部)

・NACS-J自然保護寄付パンフレット(2回、計45,000部)

・冊子「カエルツボカビ症」注意・監視のお願い(5月、19,000部／自然保護助成基金助成)

・チラシ「カエルツボカビ症対策普及啓発資料」(3月、2,000部／自然保護助成基金助成)

・冊子 ふれあい調査マニュアル[暫定版]ふれあいマップをつくろう 市民参加の地域調査(7月、300部／三井物産環境基金2006年度第1回助成)

・パンフレット 市民参加の海岸植物群落調査2007「砂浜の外来種をしらべよう」(8月、1,500部／日本財団助成)

・入会案内パンフレット・個人会員(92,000部)

・「NACS-J自然しらべ2007夏休み セミのぬげがらをさがせ！」調査マニュアル(80,000部)

・「NACS-J自然しらべ2007夏休み セミのぬげがらをさがせ！」結果レポート(21,000部)

別表 1 . 意見書・要望書等の提出 (協会代表者名で提出、カッコ内は提出日・提出先)

- ・対象狩猟鳥獣の捕獲等の禁止又は制限を定めることに係る意見書(4/20、環境大臣)
- ・「エコツーリズム推進法(案)」の審議に関わる意見書(5/24、各政党環境・観光部会部会長)
- ・普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書に対する環境保全の見地からの意見書(9/20、沖縄防衛局長)
- ・那覇港(浦添ふ頭地区)公有水面埋立事業に係る環境影響評価準備書に対する意見(12/13、浦添市土地開発公社)
- ・「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書に対する追加・修正資料」への環境保全の見地からの意見書(2/21、沖縄県知事・沖縄県環境影響評価審査会会長)

別表 2 . 声明・パブリックコメント等の提出(主に業務担当者名で提出、カッコ内は提出日・提出先)

- ・「生物多様性国家戦略の見直しに関する懇談会」における論点等に対する意見(4/2、環境省環境計画課)
- ・第3次生物多様性国家戦略(案)に対する意見(10/14、環境省環境計画課)
- ・「第3次生物多様性国家戦略の閣議決定」に際してのコメント(11/27)
- ・「民主党・生物多様性基本法案(仮称)」に対する意見(2/14、民主党ネクスト環境大臣)
- ・鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行の一部改正(案)に関する意見(4/20、環境大臣)
- ・「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための施策を実施するための基本的な指針(案)」についての意見(1/31、農林水産省農産振興課)
- ・今後の国立・国定公園のあり方に関する意見(4/27、環境省国立公園課)
- ・緑自然機構談合等の再発防止に関する意見(7/11、緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会)
- ・東京都第10次鳥獣保護事業計画素案についての意見(8/24、東京都)
- ・知床・多利用型統合的海岸管理計画(原案)に対する意見(9/28、北海道)
- ・有明海および諫早湾の自然と漁場の再生を求める - 土地改良事業完工式典に際して - (11/20、WWF ジャパン・日本野鳥の会と共同)
- ・「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書」の撤回を求めるコメント(12/21)
- ・「中長期的な展望に立った海岸保全検討会中間とりまとめ」に対する意見(1/23、国土交通省港湾局海岸・防災課)

別表 3 . 委員の派遣 (カッコ内は要請主体)

- ・エコツーリズム推進に関する基本方針検討会(環境省・国土交通省・農林水産省・文部科学省、新規)
- ・風力発電施設と自然環境保全に関する研究会(環境省・資源エネルギー庁、新規)
- ・指定動物保護対策検討会(環境省、継続)
- ・中城港湾泡瀬地区環境監視委員会(内閣府沖縄総合事務局、継続)
- ・会津駒ヶ岳・帝釈山・田代山景観保全管理方針策定検討会(環境省関東地方環境事務所、新規)
- ・尾瀬国立公園協議会(環境省関東地方環境事務所、新規)
- ・日光国立公園尾瀬地域・至仏山保全対策会議(尾瀬保護財団、継続)
- ・地域連携による保護林等の保全・管理のあり方に関する検討会(林野庁、新規)
- ・平成19年度森林・林業基本対策推進事業(里山林再生戦略の確立に向けた基礎調査)に係る検討委員会(林野庁、新規)
- ・生物多様性検討委員会(林野庁北海道森林管理局、新規)

- ・にしんの森再生プロジェクト委員会（林野庁北海道森林管理局、新規）
- ・十勝川源流部更生プロジェクト委員会（林野庁北海道森林管理局、新規）
- ・希少野生生物の保護と森林施業等との調整に関する検討委員会(林野庁関東森林管理局、継続)
- ・奄美群島森林生態系保護地域設定委員会（林野庁九州管理局、新規）
- ・沖縄本島北部国有林の取り扱いに関する検討委員会（林野庁九州森林管理局、継続）
- ・小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会アドバイザー会議（林野庁関東森林管理局、新規）
- ・小笠原兄島ノヤギ排除検討委員会（東京都、継続）
- ・野生生物保護対策検討会アカガシラカラスバト保護増殖分科会（環境省、新規）
- ・千葉県特定外来生物（アライグマ）対策検討会（千葉県、継続）
- ・東京都シカ保護管理計画検討会（東京都、新規）
- ・平成 19 年度森林・林業基本対策推進事業「里山林再生戦略の確立に向けた基礎調査」に係る調査研究委員会（(財)林政総合調査研究所）
- ・ハヶ岳高原海の口自然郷植生管理検討委員会（(株)ハヶ岳高原ロッジ、継続）
- ・環境教育アワード検討委員会（特定非営利活動法人 ECOPLUS、新規）